

# 結果をお知らせします！



福岡県立社会教育総合センターでは「令和5年度社会教育振興に関する調査研究」を実施しました。この調査は、福岡県教育庁が実施していたものを平成21年度から当センターが受け継ぎ、約3年ごとに実施しているものです。

本調査の報告書及び概要版、また過去(平成21年度～)の調査結果は、左記QRコードからアクセスできます。ぜひダウンロードして、現状把握や事業立案の参考資料等として御活用ください。

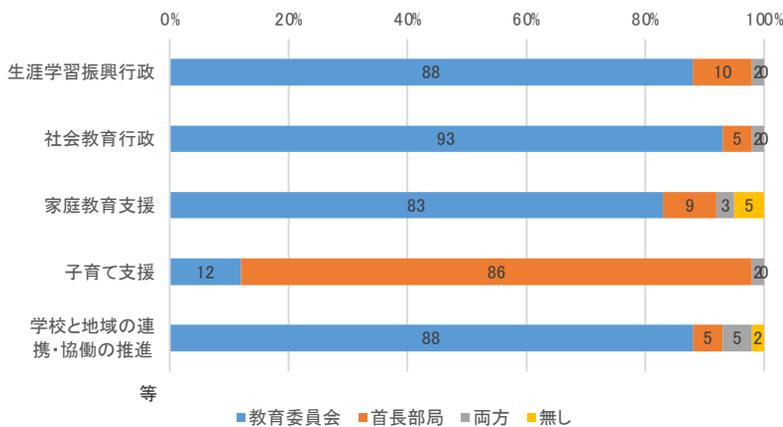
## 調査の概要

- 【目的】 県内各市町村の社会教育・生涯学習体制及び主管主催事業等の現状及び状況変化を把握し、及び分析することにより、本県社会教育・生涯学習の更なる振興に資する。
- 【対象】 各市（政令市を除く。）町村の生涯学習・社会教育主管課及び社会教育施設
- 【期間】 令和5年10月～11月



## 結果の概要

各分野を所管している部署を教えてください。

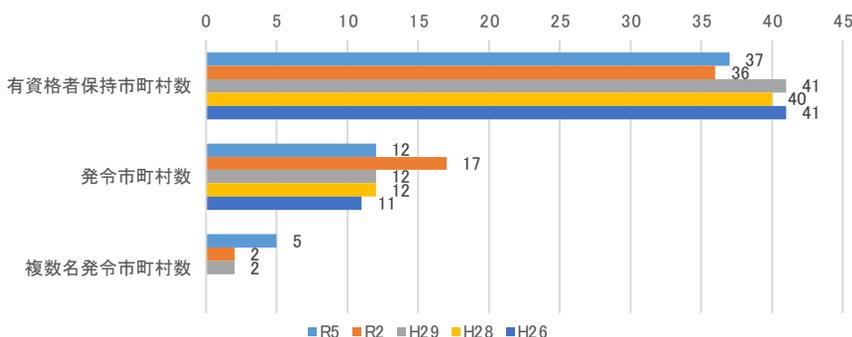


社会教育行政を「教育委員会」が所管している市町村は93%

生涯学習・社会教育振興行政等の所管部署について、教育委員会が主管している部署で最も割合が高いのは「社会教育行政」の93%で、次いで「生涯学習振興行政」「スポーツ振興行政」「青少年の育成」「学校・地域の連携推進」の88%の順となっている。

また、首長部局が主管している部署で最も割合が高いのは「子育て支援」の86%で、次いで「高齢者の活躍推進」の78%の順となっている。

社会教育主事有資格者（社会教育士を含む）の人数を教えてください。

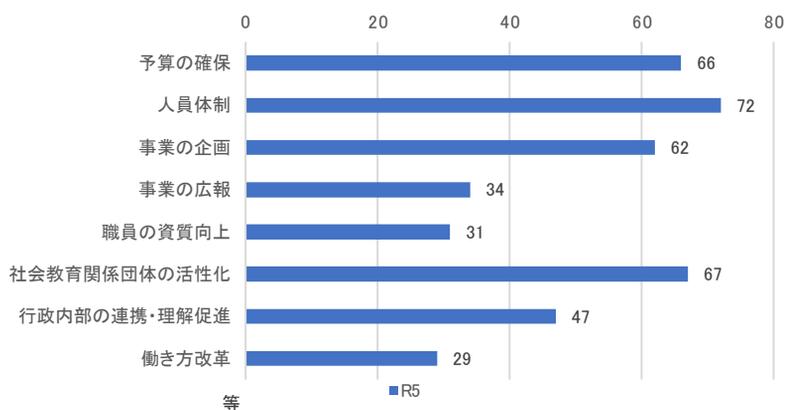


社会教育主事有資格者保持市町村数は横ばい

社会教育主事有資格者（社会教育士を含む）がいる市町村は、37市町村であり、そのうち発令されている市町村は、12市町村となっている。



## 生涯学習・社会教育の組織運営上、取り組むべき課題は何ですか。(複数回答可)

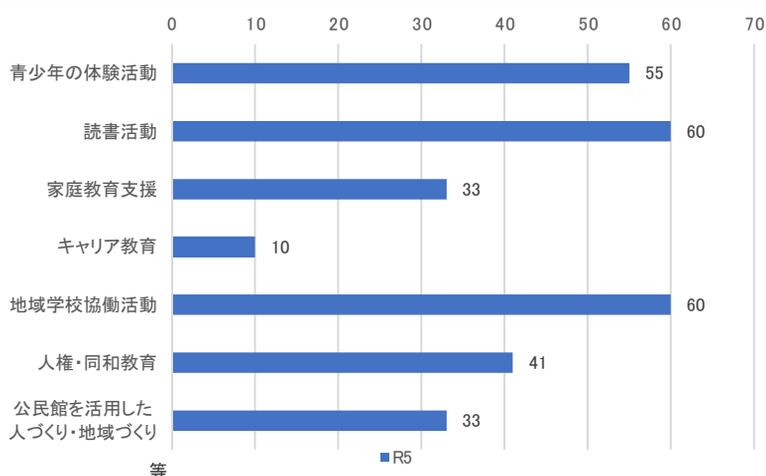


組織運営上の課題は、前回調査から大きな変化はなし

生涯学習・社会教育の組織運営上の課題について、最も割合が高いのは「人員体制」の72%で、次いで「社会教育関係団体の活性化」の67%、「予算の確保」の66%の順となっている。

上位3項目については、令和2年度調査と同様に高い割合となった。また、平成18年度調査以降、50%以上で推移している。

## 現在、重点的に取り組んでいる分野は何ですか。(複数回答可)

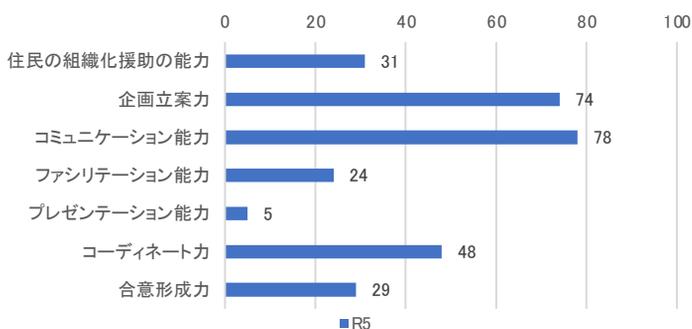


地域学校協働活動が10ポイント増加

現在、生涯学習・社会教育主管課で重点的に取り組んでいる分野について、最も割合が高いのは「読書活動」「地域学校協働活動」の60%で、次いで「青少年の体験活動」の55%、「人権・同和教育」の41%の順となっている。

令和2年度調査と比較すると、「地域学校協働活動」が10ポイント増加している一方で、「公民館を活用した人づくり・地域づくり」が15ポイント減少、次いで「人権・同和教育」が14ポイント減少している。

## 職員に特に必要な資質を3つ選んでください。(複数回答可)



「コミュニケーション能力が必要」との回答が28ポイント増加

職員に特に必要な資質について、最も割合が高いのは「コミュニケーション能力」の78%で、次いで「企画立案力」の74%、「コーディネート力」の48%の順となっている。

前回調査(令和2年度調査)と比較すると、「コミュニケーション能力」が28ポイント増加している。



本紙は「概要版」です。その他の項目や詳しい結果については、報告書を御覧ください。他にも「事業(家庭教育、体験活動、社会参画)の課題について」や「社会教育関係施設(公民館)について」、「所管主催事業について」なども調査しています。表面上方のQRコードからアクセス及びダウンロードしてください。

編集／発行

福岡県立社会教育総合センター

所在地：福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2 TEL：092-947-3512

